

授業科目名・形態	ソーシャルワーク演習Ⅳ 演習	必修・選択の別	選択	単位数	1
科目担当者氏名	山田克宏・小野聡子・高木さひろ	実務経験の有無	有	開講期	3年後期

【授業の主題】

地域福祉の基盤整備と開発に係る相談援助の知識と技術の習得を目的とします。地域社会におけるソーシャルワーカーの機能と役割について理解を深めるとともに、集団・組織の理解、他職種や住民との連携や協働、住民参加の方法について学びます。

【到達目標】

- (1) 地域社会におけるソーシャルワーカーの機能と役割について理解できる。
- (2) 地域ニーズの把握の方法と実際について理解できる。
- (3) 地域活動計画書を策定する過程を通して、計画の目的や意義を明らかにし、地域福祉の理解を深める

【授業計画・内容】

- 第1回 オリエンテーション（地域福祉を推進する機関・組織）
- 第2回 地域福祉計画の策定に関する相談援助演習
- 第3回 地域におけるサービス提供に関する相談援助演習
- 第4回 地域におけるネットワーキングに関する相談援助演習
- 第5回 地域における権利擁護活動に関する相談援助演習
- 第6回 地域ニーズの把握の方法（調査方法等および社会資源の把握、活用、調整、開発）
- 第7回 地域ニーズの把握の実際（住民参加と組織化活動）
- 第8回 ソーシャルアクションに関する相談援助演習
- 第9回 アウトリーチに関する相談援助演習
- 第10回 フィールド・リサーチ
- 第11回 調査概要書の作成（リサーチ結果のまとめ）
- 第12回 地域活動計画書の作成
- 第13回 発表会
- 第14回 発表会
- 第15回 評価

【授業実施方法】

演習形式。本演習はコンピュータやプロジェクターを用いた視聴覚プレゼンテーション、具体的な援助場面を想定した実技指導（ロールプレイング等）を中心とした参加型授業形態で実施します。

【授業準備】

事前に配布された資料またはテキストの指示された箇所を事前学習しておいてください。

【主な関連する科目】

ソーシャルワーク論、ソーシャルワーク演習

【教科書等】

長谷川匡俊 上野谷加代子 白澤政和 中谷陽明（編）『社会福祉士相談援助演習第2版』中央法規

【参考文献】

テキスト以外で必要なものは演習で紹介します。

【成績評価方法】

課題作成・発表・レポート提出等（70%）、演習への取り組み姿勢（30%）で総合的に評価します。

【実務経験及び実務を活かした授業内容】

福祉施設で生活相談員として相談業務を経験
相談援助の経験を活かし、その人らしい生活ができるように必要な福祉サービスのあり方を伝えたい。

【学生へのメッセージ】

演習は参加型授業形式です。グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション、事前に指示された課題への取り組み等、積極的に参加してください。